

1. 車椅子製造研修



中古車椅子修理・メンテナンス研修用車椅子及びパーツの到着

日本の車椅子会社と提携して、寄付対象の無償の高品質中古車椅子及び修理用車椅子パーツをラオスに搬入した。研修生、スタッフ全員で、コンテナから車椅子を下す。



車椅子の組み立て及び製品チェック

車椅子組み立ての研修。付属パーツを確認し、中古車の場合、不具合のパーツを交換するために一台一台点検し、状態をチェックしていく。日本の車椅子専門家より、修理のポイントを学び、メンテナンス方法の指導を受ける。そして、ラオスの市場を考慮し、販売戦略を立てていく。



車椅子のメンテナンス

キャスターやタイヤは消耗品であり、交換していく。また、中古車の場合、シャフト部分に埃や髪の毛などが絡まっていることが多く、走行に影響を及ぼすので取り除く。



洗車とシートの交換

車体が汚れている場合が多いので、ディスプレイ用に洗車し、天日干しする。また、シートの毛玉を取り除き、痛みがひどいものはシートも交換する。

2. 美容研修



基本的なシャンプー

初心者の研修生がOJTを続けている研修生にシャンプーを行い、指導を受ける。日本人美容師もその様子をチェックする。



カラーリングの色味の学習

市販のカラー剤ではなく、より高品質で髪の毛に優しい美容室専売品を使ってカラーリングするため、色味の学習をする。



カラーリングの実践

日本人美容師の指導のもと、実際のお客様にカラーリングのサービスを行う。カラー剤が飛ばないように注意をしながら、迅速に作業を進めるようにと、指導があった。



縮毛矯正の実践

ラオスはストレートヘアを希望する顧客が多いため、縮毛矯正のニーズは高い。髪の毛へのダメージが大きい縮毛矯正だが、最小限のダメージで効果が出るように、適切な施術方法を学び、実践する。

3. ベーカリー研修



レシピの解説

OJT を続けている中心的な研修生が、日本人パティシエから受け継いだレシピを解説する。1 g 単位で計量する重要性を伝える。



クッキー作り

OJT を続けている研修生に混じり、販売用のクッキーを作りながら、作業を学ぶ。販売するクッキーなので、新しい研修生たちも緊張感を持ちながら、作業する。



クッキーの計量

焼き上げたクッキーをパック詰めする際、全てのパックが同じ重さになるように、クッキーを計量する。手作りなので、僅かに誤差がでるが、大きいものと小さいものを組み合わせて、パックすることで、総量を揃える。



パック詰め

自動車販売会社から定期的に注文を受けているクッキーをパック詰めする。袋やステッカーも一般販売用とは異なる。違う味のクッキーを詰め、クッキーの味が印刷されたステッカーを貼り、密閉していく。

4. IT 研修



パソコンの操作練習

それぞれのレベルに合わせて、グループになり、課題を進めながら、操作方法を学ぶ。



パンフレット作成

各ワークショップを紹介するパンフレットを作る。各部門を取材しながら、何を記載すれば、より商品が売れ、集客が期待できるかを考える。



クッキーラベルの印刷

実際に売り出されるクッキーのラベル印刷とカットをIT部門が請け負う。商品の顔となるステッカーなので、クッキー部門からは厳しい注文が出る。それに応えながら、顧客を満足させるために必要な技術、コミュニケーションスキルを学ぶ。



今後の事業展開の話し合い

今後、どのような方向へ事業を進めていくか、研修生とスタッフで話し合う。聴覚障害の研修生もいるので、ホワイトボードを活用し、コミュニケーションを取りながら、話し合いを進めていく。